

校訓【共助・研鑽・進取】

本校の教育目標

地球社会の形成者として、一人一人が他者への共感を持ち、自ら研鑽を積み、創造性と進取の精神を養う、心身ともに健康な人間を育成する。

本校の教育方針

- 1 学力の向上**
授業改善を推進しながら、質の高い授業により、基礎基本の定着を図るとともに、習熟度別授業や課外講習、模擬試験の活用など様々な方策を通して学力向上を図る。
- 2 進路目標の達成**
きめ細かな進路指導を通して、明確な職業意識を育成し、主体的な学習計画の作成を支援することにより、国公立大学等への進学及び公務員等への就職など一人一人の進路目標の達成を図る。
- 3 豊かな人間性の涵養**
学校行事や部活動等の諸活動をととして、協調性や忍耐力、公共心を培うとともに、体験活動や奉仕活動などにより社会の一員としての自覚を持った豊かな人間性を涵養する。
- 4 地球社会人の育成**
国際化・情報化に対応した情報処理やコミュニケーションの能力を養成しながら、広く世界に目を向けよりよい地球社会の形成に積極的に貢献できる人間を育成する。
- 5 安全・安心な学校(職場)づくり**
危機管理の徹底及び安全教育の充実を図るとともに教育活動の積極的な発信により、学校理解の促進と信頼確保に努める。

本校の学校経営方針

- 1 確かな学力の養成**
(基礎学力の確実な定着を図り、自ら学ぶ態度を育成して主体的に生き抜く力を養成する)
①「急がば回れ」スタイルの確立(わかる喜びの体感から学習意欲を創出し考える授業へ)
○みやぎ学力状況調査結果を踏まえた学び直し指導の徹底
○計画的・組織的な宿題提示による家庭学習の習慣化
○授業の狙いの明示と振り返りの実践
○各種検定・資格試験等における一人一資格以上の取得
②研究授業の活性化等による学び合う教員集団づくり
○授業改善に資する研究テーマの設定
○教科会の定例開催による授業力向上
○小・中・ポリテクとの授業交流の積極推進
③豊富な知識、豊かな教養を身につけた生徒の育成
○朝読書の充実(生徒・全教職員での実施)
○図書館の積極的利用促進と読書量の増加
- 2 基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成**
(社会で通用する礼節の定着のもと、人と関わる力を持った自立できる人間を育てる)
①委員会活動・行事の活性化によるコミュニケーション能力の育成及び社会性の涵養
○褒める指導の工夫による自己肯定感、意欲の創出
○委員会の定期的開催による自立意識の醸成
○学校行事の生徒による自主運営の促進
②モラルの向上とマナーの定着
○校内外の美化(清掃の徹底及び計画的な教室経営)
○時間管理意識の徹底による無駄の排除
○自己管理意識向上による盗難事故ゼロ
○築ボラ部員として年1回以上の活動
③部活動の活性化(部活動指導を通して学習・生活・進路指導を)
○年間月間活動目標、予定作成及び生徒・保護者への周知
○部活動成果の向上
- 3 進路第一希望の達成**
(「志教育」年間指導計画に基づき、高い志を持って意欲的に努力する生徒を育てる)
①自ら学ぼうとする意欲の喚起
○「志教育」年間指導計画の組織的な展開
○学習室・進路指導室の整備
○「進路の手引き」の活用率向上
○1年生からの公務員課外活用による基礎力養成
②外部教育力の有効活用
○キャリアガイダンスの充実による生徒・保護者の意欲喚起
○オープンキャンパス・職場訪問の推奨による意欲喚起
○東北職業能力開発大学校との連携協定締結
○築高サポーターのデータベース作成及び活用
- 4 学校生活満足度の向上**
(本校に対するニーズを踏まえ、生徒が満足感と充実感を持てる学校づくりを推進する)
①安全安心な学校づくり
○全職員による恒常的な安全点検による事故の未然防止
○安全教育の充実(教育相談、いのちの教育、交通安全)
○「築高メール」配信への加入率200%とその有効活用
○PTA総会等への保護者出席率50%超
○HPの定期更新・諸便りの定期発行による学校理解の促進
○授業料・学校徴収金等の未納ゼロ
○適正な会計処理による事故の未然防止
②前例踏襲からの脱却による学校改善
○学校評価・授業評価等の調査項目検討及び適正運用
○PDCAサイクルの実効的実践
③地域貢献活動の推進
○築ボラ部の活性化による自信の創出と自己有用感の涵養
○地域と合同の防災訓練の実施(「守る」から「助ける」へ)
④愛校心の醸成
○キャッチフレーズ策定及び活用による帰属意識の醸成
○第2回「築高検定」の実施

生徒の実態・教師の願い・保護者や地域の願い等

- ・北に秀峰栗駒山が聳え、市内を迫川の3つの清流が潤す、豊かな自然に恵まれた高原都市であり、本県有数の穀倉地帯を形成している地域にある。
- ・栗原地区の拠点校、伝統校を引き継ぐ学校として地域社会から大きな期待を受けている。
- ・人間関係が密接な地域社会であるため、子供の教育や学校に対して協力的である。
- ・大自然に囲まれ、小規模な小中学校できめ細かな教育を受けてきた生徒も多く、他者に寛容で大らかであり、また素直でもある。
- ・地域の活力や卒業生の力を活用すれば、協調して向上できる可能性がある。
- ・全生徒がボランティア部員として小高・中高・地域との連携を進めながら様々なボランティア活動を展開している。

「志教育」の目標

郷土の歴史や伝統を踏まえ、豊かな人間性や規範意識を身につけ、自らの将来に対して夢や希望・志を持ち、地域を担う社会人として自立するとともに、広く社会についての理解や的確な行動力を養い、社会全般の発展に寄与させることを目標とする。
 1年：これまでの自らの生き方を振り返り、学習活動を通じて自分と社会の関わりを考察し、高校3年間で求められる資質・能力の把握に努める。
 2年：現代社会が抱える課題を考察し、その課題に対して自分が寄与できる分野を模索し、社会で活躍できる人間像の確立に努める。
 3年：個々人の希望を確立し、具体的な夢や希望に向けた活動を本格化することで、社会とのつながりを強く意識した生活に努める。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・高校での学習方法、学習習慣を身につけさせるなど高校生活への適応を図るとともに積極的に部活動等に取り組ませ、豊かな人間性を養う。 ・適切なコミュニケーションを図り、集団生活を送る中で、生徒自らが個性を生かし、自己実現を目指し努力するよう指導する。	・学問、職業に関する知識を深めさせ、自己理解の深化を図り、進路情報を活用させながら、将来への展望を持たせ、進路意識の高揚を図る。 ・実践的応用力の育成により、進路目標達成に向けて努力するとともに、適切に面談等を行い、自己の在り方・生き方を考えさせる。	・企業などの訪問依頼等を自ら計画し、直接訪問して「仕事最前線レポート」を作成し、勤労観・職業観を育成する。 ・具体的な職業を想定研究させ、大学学部学科等の選択を主体的に進め、「学校最前線レポート」を作成し、進路意識を高める。

各教育活動における取組の観点

各教科	・各教科の学習を通して、日々変化する社会や自分の考え方に対し、常によりよい生き方を考え、自分の在り方・生き方を考えさせるとともに、特別活動、総合的な学習の時間で進められている活動と機能的・有機的に連携を図る。
道徳	・学校行事や部活動、各教科、等の諸活動をととして、協調性や忍耐力、公共心を培うとともに、体験活動や奉仕活動などにより社会の一員としての自覚を持った豊かな人間性を涵養する。(道徳全体計画から)
総合的な学習の時間	・自己実現に向けて自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路等を選択する生徒を育成する。 ①問題発見能力及び問題解決能力の育成 ②自ら学び、自ら考える主体的な態度の育成 ③在り方・生き方を考える能力や態度の育成
特別活動	学校行事や生徒会活動等の集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方・生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養い、社会の一員としての資質の醸成を図る。
その他	地域とつながる機会や、学校生活のあらゆる機会を活用し、自己を生かす能力を養い、自らの将来に対して夢や希望を持ち、社会人として自立するための向上を図る。

家庭との連携

PTA活動、学校評価、学校公開の機会などを通して、家庭との相互理解に努め、協力体制を確立し、生徒の夢や希望・志の実現に向けて連携を進める。
 ①PTA総会や学年PTAを通じて、教育目標・学年教育目標等を共有化し、生徒の夢や希望・志の実現に向けて連携を進める。
 ②「築高だより」や学年通信等による情報提供やPTA行事との協働により相互理解を深める。

各学年の取組内容

1年	○オリエンテーション合宿 ○応援練習(学校への帰属意識と一体感醸成) ○スタディーサポート・模擬試験(事前事後指導) ○選択科目説明会(文理選択) ○東北大学のオープンキャンパス参加 ○「仕事最前線レポート」の作成 (職場訪問し、仕事内容や必要な資格・能力などの聞き取り調査) ○進路ガイダンス ○各種課外(土曜、長期休業中)の実施 ○学習合宿開催(12月) ○ボランティア部の活動
2年	○スタディーサポート・模擬試験(事前事後指導) ○岩手大学等のオープンキャンパス参加 ○他校との合同学習合宿(8月) 学習合宿(12月) ○大学等出前授業(One Day College)開催 ○「学校最前線レポート」を作成 (大学等を訪問し、職業想定に基づいて学部学科等の選択を主体的に進める) ○進路ガイダンス ○各種課外(土曜、長期休業中)の実施 ○ボランティア部の活動
3年	○模擬試験(事前事後指導) ○三者面談による進路希望の確認 ○各種課外(放課後、土曜、長期休業中)の実施、公務員課外・講習会の実施 ○小論文個人添削指導 ○校内及び同窓会による模擬面接指導 ○「総合的な学習の時間」における進路別指導 ○AO・推薦入試対策講座 ○ボランティア部の活動

地域・企業との協働

地域、企業等との相互理解と協力のもと、進路希望実現に向けて様々な連携を図り、併せて職業観・勤労観の育成を図る。
 ①ボランティア活動等に参加し、社会奉仕の精神を学ぶ。
 ②同窓生を招聘した講話や同窓会による模擬面接等により、進路希望実現に向け、自己の在り方・生き方を探求する。
 ③職場訪問等を通して、職業観・勤労観の育成を図る。
 ④大学等の訪問を通じて、上級学校の研究を行い、進路意識の高揚を図る。